

# 会 議 録

- 1 附属機関等の会議の名称  
令和元年度第2回美里町介護保険運営委員会及び美里町地域包括支援センター運営協議会
- 2 開催日時 令和元年10月31日(木)午後2時00分から午後3時40分まで
- 3 開催場所 美里町健康福祉センターさるびあ館 2階研修室
- 4 会議に出席した者
  - (1) 委員  
高橋文一委員長 清水五郎副委員長 阿部まなみ委員 櫻井道子委員  
原田伊都子委員 戸部成子委員 木村明子委員
  - (2) 事務局  
渡辺克也課長 伊藤博人課長補佐 野田浩司課長補佐 相原浩子課長補佐  
横山太一技術主査 佐々木仁美介護保険係長
  - (3) その他  
なし
- 5 議題及び会議の公開・非公開の別  
議題  
平成30年度美里町地域包括支援センター運営報告について  
平成30年度美里町介護保険事業決算状況について  
指定地域密着型サービス通所介護事業者の指定について  
その他  
  
会議の公開・非公開の別  
公開
- 6 傍聴人の人数  
0人
- 7 会議資料  
別紙のとおり

8 会議の概要

渡 辺 課 長	<p>皆さんこんにちは。長寿支援課課長の渡辺です。本日はご多忙のところご出席いただきありがとうございます。定刻となりましたので、ただ今から令和元年度第2回美里町介護保険運営委員会及び美里町地域包括支援センター運営協議会を開催させていただきます。</p> <p>本日、玉手委員と黒沼委員が欠席する旨の連絡をちょうだいしておりますので、報告させていただきます。次に資料の確認をさせていただきます。事前にお配りしておりましたが、改めて確認させていただきます。次第、資料1-1、資料1-2、資料2-1、資料2-2、資料3となりますが、よろしいでしょうか。</p> <p>それでは、美里町介護保険条例第17条第1項及び美里町地域包括支援センター条例第14条第1項の規定によりまして、委員長及び会長が会議の議長となることを定めております。高橋委員長を議長としまして、会議を進めていただければと思います。高橋委員長、よろしく願いいたします。</p>
高 橋 委 員 長	<p>皆さん、こんにちは、早速ですが始めさせていただきたいと思います。貴重な時間です。ご協力よろしく願いいたします。</p> <p>2番目としまして、会議録署名人及び会議書記の選出でございます。いかがなさいませうでしょうか。</p> <p>議長から指名してよろしいですか。</p>
	(全員了解)
高 橋 委 員 長	<p>では、指名したいと思います。会議署名人には阿部まなみ委員、もう一人の方は櫻井道子委員です。以上2名の方が署名人ということでよろしくお願ひします。会議書記には、長寿支援課佐々木仁美係長によろしくお願ひします。</p> <p>3、議事に入ります。(1)としまして、平成30年度美里町地域包括支援センター運営報告について、事務局からお願ひします。</p>
相原課長補佐	<p>長寿支援課相原です。よろしくお願ひします。着座にて説明させていただきます。</p> <p>～(1)平成30年度美里町地域包括支援センター運営報告について説明～</p>
高 橋 委 員 長	<p>事務局から(1)平成30年度美里町地域包括支援センター運営報告についての報告がありました。よろしいですか。</p>
清 水 委 員	<p>突然の質問ですが、今回の報告を受けて疑問を持ったことがありましたので、質問を含めてお聞かせ願ひたいと思います。</p> <p>一つ目はこの30年度の取り組みについて、結果がでましたが、これを受けて町としてこれをどのようにこれからの取り組みに反映させてい</p>

	<p>くのか聞かせてほしいと思います。というのは、これを見て、我々委員が質問のしようがないのです。「このような結果でした。そうですか」といったようなのでこれでいいのかなと委員として感じました。何年も委員をやっていて特に今回感じまして。というのは、毎年の事業計画にそっておそらく実施してきたわけですね。それが今回の結果報告だと認識しております。ですから結果をとらえてですね、今後結果についてどうしようか、どのように取り組むかというところが全然見えてきてないということなのです。我々委員が資料を提出されて考える部分がないのですね。実施結果はこれだけでいいものかどうか感じました。どの事業でもいいところもあれば悪いところもある。いずれ課題は必ずあると思うのです。ですからひとつひとつの事業について、計画を立てたということは目指すべき視点とか目標があって立てたはずなんです。その結果としてよかったとかもう少しだったねとかあるいはもっともっとがんばらないというものがでてくるのではないかと思います。ですからこの結果をとらえて分析して解明していく自己評価のようなものが必要だと私は考えます。その中からいいものはよりいっそういいものにし、課題が残るものは取り組み方法を改善しながら、前進しないことには進歩がないと思います。資料を見ますと、平成25年度が出ていますがそれほど変化がないようです。なかなか難しい事業だと思いますし、これだけの資料を作成して事業をすることは大変だということは承知しています。ですが、美里町の福祉をいいものするためにどうするか、答えはないですが前進することが必要だと思います。事業計画を立て、結果はこうでした。というだけでは成果は望めないと感じました。自己評価をし、より効果のある取り組みを行うことが必要だと思います。我々委員もこれを見て考え方を町に提出することも必要だと思います。ひとつひとつの事業について何を目標としているのか、結果についても分析しながら、自己評価を徹底しながら効果のある事業を進めるべきだと思います。</p>
高橋委員長	<p>ありがとうございました。</p> <p>事務局も清水委員さんの質問・疑問に即答は難しいと思いますが、その方向性で次年度を踏まえ、結果がでるような報告の仕方も含めて、自己評価も含めて、考えなおしていかれた方がいいのではないかと思います。いいアドバイスをいただきました。結果論だけで報告だけを並べても駄目だと思いますので。次年度の目標を立て、報告いただけるよう検討したいと思います。</p> <p>何か清水委員さんへお言葉があればお願いいたします。</p>
相原課長補佐	<p>その通りだなと思いながらお話しを聞かせていただきました。これを踏まえて今年度も半分過ぎましたが、予算をとって事業を実施している状態であります。</p>

	<p>前年度実施して、改めて追加したところを補足で説明させていただきます。</p> <p>～事務局追加説明～</p>
高橋委員長	<p>ですから、それを踏まえて報告は報告で従前通りでよろしいが、今年度重点を踏まえて、項目を追加していただくと、清水委員さんや我々委員にわかりやすく、事務局がこれだけ努力しているのだなあということがわかると見えてくると思いますし、なお、かつ、前年度を踏まえた次年度に向けた方針をわかるようなイメージの仕方をしてくれるといいのかなと思います。今年も後4、5ヶ月あまっているので、もし間に合えば次年度に向けて今年度の総括をもう少しだけしなおしていただければ、清水委員さんの念が届くのかなと思います。もし時間があればですが、お知らせしていただければよろしいと思います。</p>
清水委員	<p>計画を立てて実行して結果ができれば課題は必ず出てくると思います。その課題を潰していかなければ進歩はないと思います。ですからこの結果を見ただけではどのようにも評価しようが無く、どのようにとらえたらいいか悩んでいました。それはなぜかということ、実施した人しかわからないと思うので。相原さんが一番ご存知だと思います。ですから我々にも伝わって、我々がこれはどうなのかというようになると思いますので、委員と事務局が対話できるようなそういうものにしていただけないのかなと思います。さきほどネットワークの話がありました。ここにですね、「高齢、障害といった分野を超えて、関係者で権利擁護支援・成年後見制度に関する情報を共有・課題を検討し、体制整備を図る」と出てきました。少なからずやってこのようなことが必要だということであつたと思います。私たちが言いたいのは、このようなことができてこれからこのようにやっていきますとかここはよかったとかありますと、我々はこれを読んだときにこうだなと少なからず捕らえることができると思うのです。それが何も無いから「会議やりました。人数は何人でした。」「そうですか。」で終わるのはいいのかなと思いました。ようするに、したことの良いとことは別として、反省点や課題があることを潰していくことが必要なのだと思います。</p>
高橋委員長	<p>ありがとうございました。ぜひご期待に沿えるような方向性で考えていただくと、報告書は報告書で例年通りでかまわないが、米印や追加なり反省点なりを何行か下に追加していただくと、特に清水委員さんにも通りやすいのかと思いますし、我々もあつた方が今年度の事務局の努力が見えるのではないかと思います。よろしく願いいたします。</p>
阿部委員	<p>清水委員と同じような話なのですが、私もこの資料を頂いた時に同じように思いました。それで美里町第7期高齢者福祉計画・介護保険事業計画をインターネットで調べて全部見てみました。それで今回の資料と照</p>

	<p>らし合わせながらそういうことなのかと見ることができました。それに加えて清水委員さんが言ったように、分析したら今後の課題までないどのように評価したらよいのかわからなかったのでぜひお願いしたいと思いました。</p>
高橋委員長	<p>いろいろ大変でしょうが、次年度に向けて、反省も踏まえてよろしくお願いいいたします。他にありませんか。</p> <p>次年度に特に期待して我々委員も望みたいと思いますのでよろしくお願いいいたします。</p>
阿部委員	<p>もうひとつだけいいですか。</p> <p>指標のようなものが大きくあるとわかりやすいと思うが、指標の立て方が参考になるようなものはお持ちですか。ようするに介護予防とは介護を受ける人を減らしていくことが最大の目標だと思いますが、今の現状とこうなったらいいなという差を埋めていく取り組みがこの資料の中身なのだと思います。実際やったことが成果として表れている成果の指標のようなものがあればわかりやすくあると比較ができると思いますので、目標の部分が具体的に示されているとわかりやすいのかなと思いました。他の市町村でもやっていると思いますが、そこがわかると住民全員がわかると思うのですね、廻りの人たちが、近所のおじいさん・おばあさん達が全然寝たきりの人がいないねとか、施設に入らないで自宅でがんばって介護しているんだってよというような住民が言葉で表せてもわかるようなそういう指標があるといいのかなと思いました。</p>
高橋委員長	<p>指標も含めて文字も数字もふくめて検討する項目があるかもしれません。もう少し具体的にわかりやすくしていただくとうれしいなと思います。</p> <p>ありがとうございました。</p>
高橋委員長	<p>次に、(2)平成30年度美里町介護保険事業決算状況について、事務局からお願いします。</p>
野田課長補佐	<p>長寿支援課野田です。よろしく申し上げます。着座にて説明させていただきます。</p> <p>～(2)平成30年度美里町介護保険事業決算状況について説明～</p>
高橋委員長	<p>事務局から(2)平成30年度美里町介護保険事業決算状況についての報告がありました。よろしいですか。</p>
清水委員	<p>先ほどと同じことなのですね、いわゆる、このような状況でしたとのことですが、これを見ますと人口は減っています。これは致し方ないので、どうしようもないです。65歳以上の人口も増えていますが、これもどうしようもありません。これに伴う医療費が上がっています。当然ですね。高齢者が増えているので。去年より9千万くらい多くなっております。これがどんどん増えていくのですね。25年あたりは大変なこ</p>

	<p>とになっておりますね。そのときにどのような手を打つのか考えておく時期ではなくてすでに考えておかなければいけないと思うのです。ですからこの数字が出てきた時に、町としてどのような取り組みをするのだろうか、おそらく議会でも質問ができるのではないかと余計なことまで考えてしまいました。ですから、この数字が出てきた時にどうしても致し方ないところはしかたないので、何かの方法で財政を圧迫しないような、削減といいますか、負担がかからない方法を考えるべきだと思います。個人的な意見ですが、やはり、包括支援センターと連携を強化しながら介護を予防する方法を、ようするに、治療費がかからない方法を強化していくとか、ひとつの例ですが。そういうものをきちんと考えていかなければ大変な時期がくるのではないかと思います。ですからこの決算状況を見ていただいて、町として考え方や取り組み方を明確にしておかなければならないと思います。町としてこのような考えがあるとかこのようところが大変だとかそういうものを添えていただくとわかりやすいかなと実は思いました。</p>
高橋委員長	<p>ありがとうございます。その辺を踏まえて追加で回答をお願いします。美里町は要支援1が重度から予防につながるとせっかく言ってくれたので、これをどのように、この人数の多さをうまく活用できる方法を、清水委員さんのご意見も含まれていると思うのですが、この辺の活用の仕方を考えないと、医療費がどんどん増加していくのではないかと思います。この多さをいい方向性につなげていくことを我々も含めて、考えていかないと。ぜひ美里町の特徴を生かしていかなければいけないと思いますが。委員の皆さんいかがですか。</p>
阿部委員	<p>要支援1の人数が多いのは、包括支援センターとか介護予防の事業の成果だという捉え方でいいのですよね。</p>
野田課長補佐	<p>例えば、さるびあ館に相談にきていただいた方が、介護や介護予防への支援が必要とされる場合、ケアマネジャーさんと連携をとって、包括支援センターが調整して、認定を受けていただくということを常に行っております。そうしたことが成果につながっていると考えられます。</p>
阿部委員	<p>他の町と比べるとずいぶん違いますね。色麻町なんかはいないのですかね。</p>
高橋委員長	<p>そこはもう少し深く考えないと。単純に表に出た数字だけでは違うような気がします。これはもう下がっているからいいですが、それがちょっとしたことで重症化したらもっと大変なことになるので、今、いいことをいつてくれたのですが、単純に喜べないと思います。</p>
櫻井委員	<p>私は喜ばないですよ。 介護保険がパンクして使われなくなるのではないのかなと思いますので、そういう意味で今朝お電話でお伝えしたのです。もっと高齢者の人</p>

	でも65歳以上の方々が元気で働いているその人数などを検問した方がいいのではないかと考えたので教えてほしいと話題は提供しておきました。
高橋委員長	なるべく自分の手をかけて、早くから介護の予防・要支援で少しみておいた方が特なのかなと、ようするに家族の意見も踏まえて、トータルでみないとあぶないような気がします。そこは人それぞれで、ここでご意見をいただいただけでもいろいろな意見が出でいまして、さまざまご意見をいただいて、純粋に考えてくれる人やもっと心配してくれる人やそこはいい意味で膨らましていかなければいけないと思いますので、支援も含めて、いい方向に広がっていってくれるとうれしいなと思います。
清水委員	私は一住民として住みやすい町になればいいなと思うのです。それだけです。
木村委員	実際、うちのおばあさんが今年、要支援1になったのですが、やはり家族だけで心配しているよりちゃんと認定していただいた後は、もう要支援1なのだからちゃんと見ていないとか、いろいろなことをちゃんと自分でさせてあげないとというような意識が高まるのでこれはとってもよかったと思っています。要支援が多いのは家族の意識作りにもとってもよいことだと思いますので、みなさんの努力はすばらしいと思いながら資料の数字を見ていました。おかげさまでうちでは家族の意識が一緒になって進んでいますので。
高橋委員長	そこも膨らませて要支援1でも外に出たりと会合があったりして人間関係が繋がるともっと元気になれるので、その辺はトータルで大変だろうけど最後には医療費の削減につながると思うので、ぜひもう少し、年をとっても美里町から逃げたくないような町づくりを我々も職員の方々も共通して考えていかなければいけないのかなと思います。
原田委員	私は二つほどすごいなと思うものがありました。それは美里町は在宅サ-ビスが多いのは、これはすごくいいことですよね。なんでなのかなと思ったことが一つと、後は介護の療養型でしたか、野崎病院さんの三人で二千万なのだな、そうすると一人あたり700万かかっているのかとびっくりしました。ただ経過措置があって、将来的には後はなくなるのですよね。病院でみるのは料金がかかるのだなと気づきとしてみさせていただきました。
高橋委員長	我々も含めて事務局も前進的に、先ほどの(1)の項目でご意見いただいたものもふまえて、膨らませるものが多くて大変でしょうが前向きにお願いいたします。 他にありませんか。 結果的に医療費の節約につながるよう、我々も努力していかなければい

	けないなと思います。統計も利用して、ぜひ相原さんの項目と連携して共通性をもたせて、統計だけ並べるのではなくコメントを加えていただくともっといいものになると思いますのでよろしくお願いいたします。
高橋委員長	次に(3)指定地域密着型サービス通所介護事業者の指定について事務局よりお願いします。
野田課長補佐	(3)指定地域密着型サービス通所介護事業者の指定について、ご説明させていただきます。 (3)指定地域密着型サービス通所介護事業者の指定について～説明
高橋委員長	事務局から(3)指定地域密着型サービス通所介護事業者の指定についての報告がありました。よろしいですか。
高橋委員長	(4)その他ということで事務局からお願いします。
相原課長補佐	私の方から報告させていただきます。今年度ですね、委員さん方からたくさんご意見をいただいたのですが、前年度実施した結果をふまえて今年度、事業を実施してきた中で、美里町でこの辺が課題かなと思われて来年度に取り組んでいかなければいけないと思われるところを何点かありましたのでみなさんにご報告しながらご意見をいただければと思います。 まず、在宅医療介護連携推進事業について、協議と実施してきたのですが、今年度実施してきた中では、医療連携を進めていくためには、町内の事業所だけとの連携よりは医師との連携を進めていくべきだと感じておまして今年度医師会との連携をどのように進めていくかというところを協議会で検討しております。今後先生方と一緒に研修会を実施したりですとか、事業にご意見をいただいたりとか次年度にむけて進めていきたいと思っております。後は、美里町は郡として遠田郡というところで涌谷町と美里町としかない郡となっております。医師会の方は遠田郡として先生方は遠田郡として動いていますので、私たちも広域的に涌谷町と一緒に地域課題や連携のことを考えたりしていかなければならないということで、今年度だいが会議とかしてきましたが、来年度以降も続けていこうと思っています。生活支援体制整理事業になります。こちらにつきましては、会議の場でもでたのですが、高齢者の生活支援を支える人というところを作っていかなければならないというのと体制や仕組み作りを考えていかなければならないというところ来年度以降高齢者を支えてく人づくりといいいますかそこまでなるかどうかわかりませんが、そのあたりの事業を考えていきたいと思っております。後は専門職の方でチームを作ってケアプランと一緒に考えていくということを行っていくのですが、ケアマネジャーさんたちが一人でケアプランを作っているという方が多い状況で、なかなか広い視点で利用者さんのことを考えるということが難しいようです。今回、いろいろな専門職からケアプラン

	<p>に対して意見を頂いたことで、別の視点でケアプランを考えることがわかったというようなケアマネジャーさんが何名かできてきているので、今後そのあたりを広く他の事業所さんと連携をとりながら進めていきたいと思っております。後は、生活支援体制整理事業の方で生活体制コーディネーターの方を一名配置してという話をしておりましたが、ケアマネジャーさんは介護保険のサービスの組み立ての方にだけ視点がいて、地域にある資源を活用してとか利用者が地域の方とやりとりできるようなことを考えていくことが難しいということがはっきりしてきましたので、資源や住民の方と要支援などの利用者さんが、地域のあるものを利用できるようにケアマネジャーさんに対して社会資源のところをうまく伝えていけるとか、住民の方が参加できるようにコーディネーターの方がまかなうとかそのあたりが今後できるように取り組んでいきたいと思っております。口頭で申しわけありませんが、このようなところが今後の事業の課題だと思っておりました。ご意見等ありましたらよろしく願いいたします。</p>
高橋委員長	<p>ありがとうございました。大きく分けて3項目から4項目くらいを次年度に盛り込んでいただいて、盛り込めなくても結果報告は、ぜひ、具体的に報告していただけると清水委員さんの疑問の思っていることが復習されると思いますので前向きにお願いいたします。</p> <p>他にありませんか。</p>
野田課長補佐	<p>次に介護保険係から令和3年度から令和5年度までの高齢者福祉計画及び介護保険事業計画のスケジュールについておおまかに説明させていただきます。</p> <p>～高齢者福祉計画及び介護保険事業計画のスケジュールについて説明～</p>
高橋委員長	<p>ありがとうございました。</p> <p>他にありませんか。</p>
戸部委員	<p>この間のニュースで、静岡県の施設が閉鎖するという話を聞いて、私どもの地元でも何回も経営者が変わっているというのがあるのですが、そういうことを聞いていると、施設だけ増やしていいのかなと思います。結局、施設を作るのも介護保険が投入されるわけで、どうして大きくしたのにやっていけなくなる状態にあるのか、その状態をさぐらないで、ただただ「施設を建てたいので許可ください。はいどうぞ」というような感じだけで増やしているような気がするのです。そういう中でこのような件が出てくると、我々、介護保険料を年金から引かれていて、年金からはがきをいただいて減っていく中で、こういう状態をみると暗い気持ちになるのです。そのような施設が必要であることはわかるのですが、こういうような無駄遣いになるような施設を許可していいのかなと思うのです。美里町ではこのように傾きかけているところはないですか。</p>

	<p>そういうところは見えませんか。心配になります。</p>
野田課長補佐	<p>現在、事業所との連絡会等を地域包括支援センター中心に実施させていただいております。それで個々の事業所についてお互い顔の見える状況をつくっております。同時に地域密着事業所については、法改正により町で実地指導監督を実施することになっており、それに伴って実地指導を計画的に行っております。令和元年度については、6事業所について実地指導をする予定になっております。グループホームが2事業所、地域密着事業所が2事業所、居宅支援事業所が2事業所の2事業所ずつ実施していく予定でございます。移行期でございますので、いろいろ試行錯誤しながら、定期的に6事業所から10事業所程度をやっているような体制を整備しているところです。</p>
高橋委員長	<p>今のところ、美里町は安定しているようですね。頑張って事務局もやってくれているようです。</p>
清水委員	<p>特に美里町は在宅のサービス事業所が多いですね。私たちの日常生活でもお客さんが取り合いなのですね。あっちこっちと送迎の車が行き違うのです。遠くからもくるのです。サービスの悪いところは潰れるのですよ。そういうところにはお客さんはいきませんから。そういう口コミはすごいのであつという間に流れますから。ですからあそこの職員の対応が悪いとかサービスが悪いところにはいきませんから。ただ今のところ、行くところがないからやむをえず行くかと行ってますが、あるいはサービスが悪いと職員も集まってこないのですね。そうすると、施設を縮小するとか閉鎖するとかというような現象が目に見えてきます。ですから、サービスというものをいかに強化していくか施設の取り組みがあるのでしょうか、町としても施設の指導というのは、徹底していく必要があるのかなと思っています。</p>
高橋委員長	<p>ありがとうございました。いろいろなご意見がありますけど、事務局も今年度から次年度にむけて頑張っていただけだと思いますのでよろしくお願いいいたします。</p> <p>他にありませんか。</p>
伊藤課長補佐	<p>櫻井委員さんから事前に質問がありました件についてお話をいたします。</p> <p>一つ目が、65歳以上の就業人口について美里町で把握していますかという質問でよろしいですか。</p>
櫻井委員	<p>65歳以上の人口に対して65歳以上の方が就業している人数、割合についてお伺いしたと思います。これは総務省でずいぶん前に発表しているのですね。総人口に対しての割合で。だから割合は20ぐらいまでなっているかもしれません。美里町はどうなのでしょう。就業していても正社員で働いている人は限られると思うのです。ほとんどが非社員だと思うので、その辺を踏まえて教えてください。</p>

伊藤課長補佐	<p>たとえば給与以外で、65歳以上の方でアルバイトや日雇いなどで働いている方が町としてどうかというのは、傾向分析の中の数字の抑え方なのですが、給与だけだと税務の方で給与収入という形でしか見れないのですが、それをおさえるのが国の方で出している数字というのが、みなさんもお聞きしたことがあると思いますが、国勢調査でどのような職種で携わっているか調査があります。そちらの数字をおさえております。平成27年度に行った調査で、65歳以上の調査に携わる方7,890人に対して就業していると回答されている方が1,746人。</p> <p>これぐらいの方がお給料以外のさまざまな職種で働いていますと回答された方になっております。現在、65歳以上の人口が8,000人を超えているのでこちらにつきましても増加率だけみれば伸びていると分析しています。ただ、それ以外にも昨今の状況で消費税が上がったり、社会情勢事態が国を挙げて年金の引き上げをどんどんやっていきますという社会要因までは私の方では推計にいれてませんので、それを加味すると伸び率はその当方で1,746人とはいえ現時点で働いている人はもっと伸び率は多いのかと思います。以上です。</p>
櫻井委員	<p>それで、なぜ私が思ったのかというと、南郷のシルバー人材センターで働いている方が木に登って、落ちてしまい、車椅子の状態になってしまったということを知りました。それで急ではなく、どのような職業についているのか聞いた上で質問をすればよかったのですが、そういうことも私は心配しているのです。いわゆる年をとっても働いている人の労災認定ですか、その辺が今後の課題になっていくと思うのです。お年よりというのは、転んだりしてそういう労災などを受けなければいけない、そういう人たちが増えてくるのかなということ、社会保障のその部分の見直しも必要になってくるのかなと心配しています。だから、美里町もどんどん元気で働いていく人たちが増えていくのではないかなと思います。介護で寝たきりの人たちが多くなっていますということだけではなく、元気で働ける、安心して働けるそういう社会になってきていますから、働ける人は働きましようという、そういう働きがどこかでできればなあと思っております。</p> <p>2つ目が、敬老会のことについてです。新聞に掲載された件について、対応の仕方が事実であれば残念でならないですし、その後、栗原市の施設長さんの記事も掲載され、美里町の行政は、そういうことに不親切だというような広まりがされていないかと懸念します。事実関係となぜこのような広がりになってしまったのか教えていただきたいと思います。</p>
渡辺課長	～敬老会の新聞掲載記事について説明～
高橋委員長	参考になりました。長時間にわたり大変お疲れ様でした。

	他にありませんか。 では、最後に長寿支援課課長からお願いします。
渡 辺 課 長	以上をもちまして、第 2 回美里町介護保険運営委員会及び美里町地域 包括支援センター運営協議会を終了させていただきます。

会議の経過を記載して、相違ないことを証するためここに署名する。

令和 年 月 日

署名委員

署名委員